

事業所名

はぐみ大谷教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

2 月

13 日

法人（事業所）理念		子ども達の最善の利益を大切にし、１人ひとりの個性を尊重する居場所を目指し、子ども達の『個性』・『自立』を大切に育みます。																			
支援方針		生きる力を育みます。 子ども達がそれぞれの自立することを目標として子どもの成長に合わせて育てていきます。																			
営業時間		平日 土・祝・長期休暇								10 9	時	00 00	分から	17 16	時	00 00	分まで	送迎実施の有無		ありなし	
		支 援 内 容																			
本人支援	健康・生活	・定期的な心身の把握（検温・気分の把握等） ・睡眠・食事・排泄等の生活リズムの安定化 ・視覚を意識した環境整備（絵や写真を使い具体的に表示する等）																			
	運動・感覚	・音楽に合わせてダンス、鉄棒・ボール遊びなど粗大運動の実施 ・姿勢保持のためのバランス遊具 ・感覚過敏用に静かな部屋を設ける ・工作・粘土・ブロック遊び等での手指の巧緻性向上																			
	認知・行動	・季節・天気・気温等の変化への興味などの感性形成のための外出及び行動、日付・時間の把握と確認による感覚・数の認知形成 ・一日タイムテーブルの提示・確認による時間の認知形成 ・粘土・スライムによる物質の変化及び感覚の認知形成、ブロック遊びによる空間把握の認知形成 ・集団活動においてのゲームでの適切な行動形成・認知の偏りへの配慮																			
	言語 コミュニケーション	・終わりの会で活動の振り返りや気持ちの発表による言語表出・受容 ・個別または集団での障害の特性に応じた読み書きの訓練 ・ジェスチャーや写真・絵カードによる視覚支援の活用																			
	人間関係 社会性	・SSTやルール・マナーの理解が必要とする遊びや集団活動などによる社会的訓練を実施 ・アタッチメントの形成 ・見立て遊び・つもり遊び・ごっこ遊び等の象徴遊びの組み合わせ、また一人遊びから協同遊びへの移行による社会性の発達支援 ・イベントなどを通して地域・家庭との交流																			
家族支援		・各利用者について6カ月に1度、話し合う機会を持つ ・保護者の思いを尊重し、保護者に寄り添いながら、支援を推進する								移行支援		・就学や転園を迎える利用者に関係する機関や各機関に助言を仰ぎながら、保護者や本人の意向を確認し、就学先選択・就学等に向けての目標について相談を進める									
地域支援・地域連携		・必要に応じて、利用者の関係機関（相談事業所・園・学校・担当医師等）と連携し相談や話し合いの場を設け、計画的な支援・発達につなげる								職員の質の向上		・キャリアアップや資格取得 ・社外・社内研修の実施 ・チェックリストによる職員の状態把握等実施									
主な行事等		ひな人形見学、ホワイトデー制作、お花見、こども祭り、母の日プレゼント作り、父の日のプレゼント作り、七夕制作、プール、遠足、夏祭り、敬老の日のプレゼント作り、お月見制作、遠足、ハロウィン、クリスマス会、初詣、豆まき、バレンタインデー製作等																			